

## T&C防食

NETIS登録番号：(旧) KT-090012-A・(旧) HKK-110001-VR

## 株式会社日興

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-24-19 シャイン荻窪ビル

TEL 03-3393-7641 FAX 03-3393-7632

URL https://www.nikko-gp.co.jp/

mail NK@nikko-gp.co.jp

[資料請求先] 営業部 (TEL.03-3393-7641、FAX.03-3393-7632)

[関連団体] クリスタルコンクリート協会 (〒167-0043 東京都杉並区上荻1-24-19 シャイン荻窪ビル、TEL.03-3393-7641、FAX.03-3393-7632)



T&C防食施工後12年を経た防波堤



T&C防食-塩害用- 施工中

### 【コンクリート凍害劣化防止表面含浸工法 T&C防食】

T&C防食は、2種類の反応機構の異なる浸透材をコンクリート表面に塗布することにより、凍害によるスケール劣化を抑制する技術。1種類塗布に比べ、コンクリート中の細孔を無機不溶性物質により、さらに充填することが可能となる。また、T&C防食処理されたコンクリート表層部は硬度が向上することが確認されており、凍結融解によるコンクリート表層の剥離応力に対しても、抵抗性が増しスケール発生を抑制する機能を有する。

・NETIS登録番号：(旧) KT-090012-A

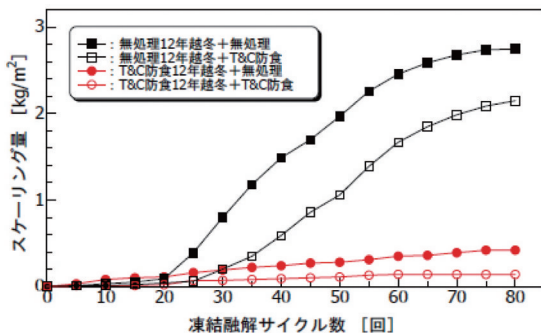


平成16年に、凍害表面剥離劣化防止材として表面含浸材では唯一の建設技術審査証明を取得。(建技審証 第0403号)

### 特長

1. 塩化物と凍結融解の複合作用により引き起こされる、スケール劣化防止に対する抵抗性を向上。
2. コンクリート凍害の大きな要因となる、水分の浸入を抑制する性能を向上させる。
3. 施工後もコンクリート構造物の外観に大きな変化を与えない。
4. 使用材料には有害な物質を含まない。

実環境12年経過後のコア供試体によるスケール試験結果

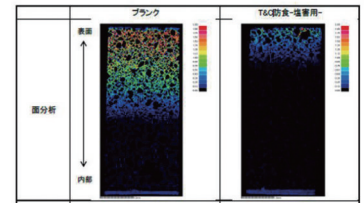


### 【コンクリート塩害劣化防止表面含浸工法 T&C防食-塩害用-】

「T&C防食-塩害用-」は2004年5月に建設技術審査証明を取得した表面含浸工法「T&C防食」(建技審証第0403号 NETIS登録番号：(旧) KT-090012-A)に使用していた材料の構成を改良し、特に塩化物イオンの侵入抑制効果を高めた表面含浸材である。

一般的な含浸材は撥水性を付与するシラン系、もしくは緻密化する珪酸系の1液型のため片方の性能しか持つことができないが、「T&C防食-塩害用-」は緻密化した上に撥水性を付与するという、シラン、珪酸系両方の特性を併せ持つ2液ハイブリット型の含浸材である。

・NETIS登録番号：(旧) HKK-110001-VR



EPMAの分析結果  
(10%NaCl溶液 1年間浸漬後)

### 特長

1. 優れた塩化物イオン侵入抑制効果を発揮する。
2. コンクリート表層を緻密化し、かつ疎水性効果を付与する。
3. 速乾性に優れ、海洋環境における施工性も向上する。
4. 高い安全性能を保有し、環境汚染の心配がない。

10%NaCl溶液 1年間浸漬結果

